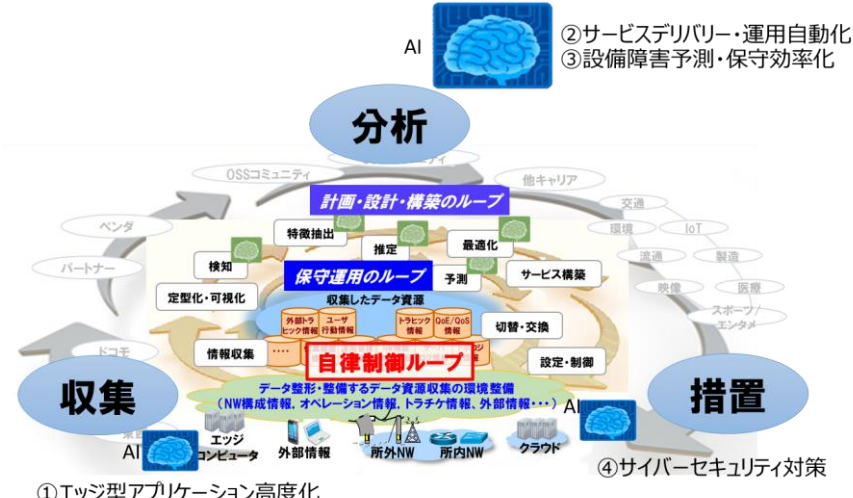
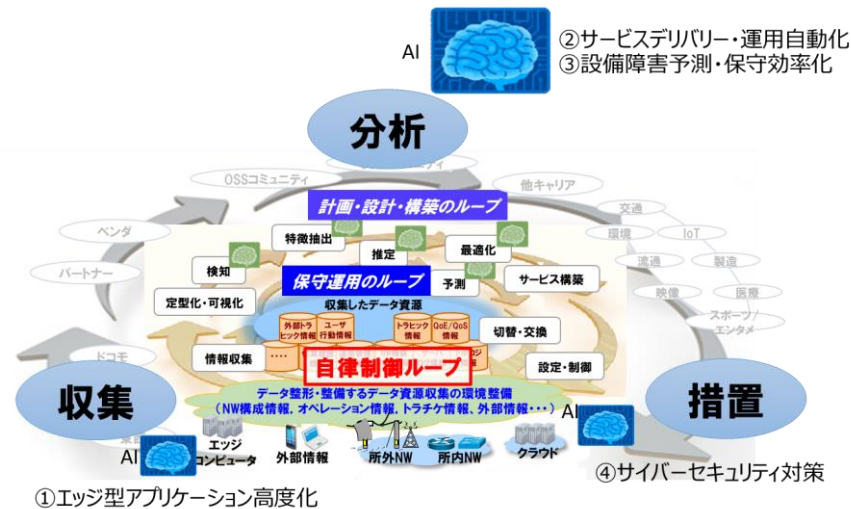


中期標準化戦略(概要と目的)		専門委員会・AG名	AI活用専門委員会	1/3
企画戦略委員	石岡 譲（富士通） 樽谷 克彦（日立製作所）	登録委員数	24委員（12会員）	
委員長・副委員長/ リーダー・サブリーダー	委員長：宮澤 雅典（KDDI） 副委員長：岩崎 順子（NEC）	図解		
活動の目的・意義	- AI活用によりサービス基盤の高度化が見込まれる領域を選定し、などの、各テーマの具体化検討、技術ドキュメントの作成により、会員企業へ情報提供を行う。 - AI活用を推進する上で必要な世界中の知見収集と情報発信により、会員の新たなサービス創出や最先端ビジネス環境の構築促進につなげる。	 ①エッジ型アプリケーション高度化 ②サービスデリバリー・運用自動化 ③設備障害予測・保守効率化 ④サイバーセキュリティ対策 AI実装位置例		
活動する上での課題 （人材面や運用面での課題を含む）	- 調査対象ユースケースの広がり不足 - 課題抽出、アーキテクチャへの検討深度の向上 - 会員企業の関心が高いと思われる活動テーマを選定することで委員会活動の活性化を図る			
関連のSDGsゴール				
標準化方針	(1)設置時の4検討対象テーマについての検討を継続。①エッジ型アプリケーション高度化、②サービスデリバリー・運用自動化、③設備障害予測・保守効率化、④サイバーセキュリティ対策 (2)ユースケース調査、具体課題の設定と調査に注力し、その結果をベースにその後のWork Item、成果物、関連専門委員会との連携に努める。 (3)AI適用時の品質・信頼性・説明責任について、委員会活動テーマの範囲において、あるべき姿の検討を行う。 (4) 成果物は、標準を含め、会員の事業に寄与するものとし、あらゆる知見、発見、情報を考慮する。			
国内外の標準化団体等の動向	・IEEE：AI Global Initiative for Ethical Considerations in AI and ASで論点整理。Ethically Aligned Design(EAD)ver.2発行。 ・ITU-T SG16：健康・マルチメディア関連 FG-AI4H(2018/7月) SG2：AIによる自然災害管理 FG-AI4NDM(2020/12月) SG13：自律型NW FG-AN(2020/12月) SG20：農業対応AIとIoT FG-AI4A(2021/10月) TSAG：Metaverse関連 FG-MV(2022/12月) ・ISO/IEC JTC1:SC42設立(2017/10)。国内審議:情報規格調査会 ・ETSI：ENI(Experiential Networked Intelligence:2017/2月) ZSM(Zero touch network and Service Management:2017/12) ・TM Forum：顧客体験、サービス、網の各管理へのAI応用のPoC等。 ・OSS系：ONAP、Acumos、TIP(Telecom Infra Project)等。			



AI実装位置例

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	全体的網羅性確保を目指し、5Gを含む通信を利用した様々なAI適用シナリオを調査し、シナリオ別にAI適用時の倫理側面でのリスクの洗出と、その低減策の検討を行い、AI適用の心理的なハードルを下げ、AI適用の普及促進に資することを目指す。 ・ TTCの関心分野/サービスを中心に、AIを適用したユースケース（シナリオ）調査を行う ・ AIのシステムアーキテクチャや構成の推定 ・ 調査を行ったシナリオ毎に、シナリオ固有リスクの分析を、軸とした活動を行うことで、リスクの低減や説明責任ポイントの明確化に向けた検討を行う。 合わせて、調査/検討結果は、新規TRとして取り纏め、制定を目指す。 ・ 各SDOでの検討状況に関わる情報の共有を行う。			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	・ 信号制御、Network Vision、移動通信網マネジメント、IoTエリアネットワークの各専門委員会（2030年を見据えた将来網検討） IoTエリアネットワーク専門委員会でのユースケース検討結果を踏まえたWI検討 ・ コネクテッドカー専門委員会（特に、FG AI4AD関連）			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	-	
	外部会合への参加・連携状況	必要に応じて	-	
② ドキュメント作成 国内標準仕様書 レポート	JJ標準	0件（予定しない）	-	
	TS/TR/SR	0件/1件/0件	TR制定:TR-1099v1.0	
③ ダウンストリーム	数	-（予定しない）	-	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	AI活用に関するセミナーの開催	・AI活用時の説明責任の事例調査：9月	
	記事投稿、講演会	必要により検討	・マルチメディア推進フォーラム「AIの品質・信頼性・説明責任に関する動向と事例に基づく検討紹介」：11月	

新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	●AI活用時の説明責任に関するTR（TR-1099：AI活用時の説明責任に関する事例調査）の増補改訂を下記観点で行う。 通信が中心となるユースケースを追加することで、通信領域のAI倫理のケーススタディを追加 AIのリテラシー向上とAIの普及促進に資することを目指すため、AIを構成するシステムアーキテクチャの基本解説を追加 各SDOでの検討状況に関わる情報の共有 ●TTC会員企業にとっての関心領域と思われる、通信関連領域/サービスを中心に、AIを適用したユースケース調査と掘り下げ検討を行う。 通信領域へのAI適用時における、具体的課題の推定と検討 メタバースなどの新領域へ調査を拡大 特定分野の専門家/有識者を招いてのセミナー企画			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	・信号制御、Network Vision、移動通信網マネジメント、IoTエリアネットワークの各専門委員会（2030年を見据えた将来網検討）と共同して、IoTエリアネットワーク専門委員会でのユースケース検討結果を踏まえたWI検討			
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	-	
	外部会合への参加・連携状況	必要に応じて実施		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件（予定しない）		
	TS/TR/SR	0件/1件/0件		
③ ダウンストリーム	数	-（予定しない）		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	AI活用に関するセミナーの開催		
	記事投稿、講演会	必要により検討		